

県営地域用水環境整備事業（単独魚道整備型） 最上小国川地区

事業の目的

最上小国川は、県北部の奥羽山系を源に発する一級河川で、「鮎の川」として知られており、他にも多様な魚介類が生息している清流である。このため、農業用施設である「大堰頭首工」「富田堰頭首工」に魚道が設置されているが、調査の結果遡上に支障をきたしていたことから、早急に魚道を改修し、魚介類の円滑な遡上と河川の正常な機能維持を図りました。

事業の内容

事業期間 H14～H20 事業費 142百万円

主要工事 魚道整備 2ヶ所（大堰頭首工魚道[水路型・全面型]、富田堰頭首工魚道[全面型]）

地区全景（大堰） 舟形町長沢地内

（整備前）



（完成後）



ハーフコーン型式魚道



多様な魚種に対応可能・土砂がたまりにくい

堰に遡上を阻まれるアユ



地区全景（富田堰） 舟形町長者原地内

（整備前）



（完成後）



連絡先：最上総合支庁産業経済部農村整備課

TEL：0233-22-4035